

◆ 散策路

- ア 樹林帯散策路** (上ノ山～飯田山～平瀬本城)【上級：20分】
クヌギ・コナラ・ケヤキの落葉樹林からの、北アルプス・安曇野の素晴らしい眺望は松本随一。カタクリの群生保護区あり。
- イ 落葉樹林帯散策路** (疫病平～老平～のぞき)【中級：20分】
コナラの実生林、カラマツの巨木、珍しいソゴの大木。
- ウ 山野草の小径散策路** (山田道)【中級：30分】
ヒノキ林・クルミの大木・コナラ樹林・ケヤキの巨樹、石造鳥居を構えた山の神、伝説の犀乗沢。
- エ アルプス眺望散策路** (のぞき～石仏～金刀比羅神社～キツネ山)【初級：30分】
北アルプスを眺望してナラ・クヌギ・カラマツ・ホウ・ケヤキの大木を眺め、山の頂の立派な金刀比羅神社は神秘のパワースポット。枝垂桜の古木、戦国時代の見張り場のキツネ山。
- オ 小鳥の小径散策路** (御所山～陣畑～平瀬南城)【上級：30分】
クヌギ・コナラの落葉樹林からの、北アルプス・安曇野の素晴らしい眺望は松本随一。
- カ 山田池周辺散策路**【初級：30分】
コナラ樹林帯の中に貴重な山野草の群生数十種類。サワラ・サクラの大木、山田池の水鳥、紅葉に北アルプス眺望、サクラの花等自然な出会いに触れられる道。
- キ 学びの小径散策路** (市道～中の沢～杏平～山田池)【中級：60分】
沢沿いの湿地帯、用水隧道、静寂の古池、水芭蕉に山野草、平安期の貴重な古窯跡等、自然と歴史満喫の林間散策道。
- ク 塩の道** (泣き坂～アルプス公園北駐車場～養老坂～老根田)【中級：30分】
養老年間(8世紀初)に開墾されたとされる古道で、近世まで安曇地方と松本を繋ぐ幹線道路として利用されてきた。
- ケ 塩の道** (胡桃沢勘内歌碑～平瀬学校跡～養老坂～老根田)【中級：30分】
糸川川からの塩の道として現在も古代の姿を遺す「歴史街道」である。

◆ 伝承

1 泉小太郎犀乗りの地

泉小太郎が、母の犀龍の背に乗った場所が「犀乗沢」で、その時の犀龍の尾が入っていたのが、安曇野市との境にある「尾入沢」と語り継がれている。
山田地区には「犀乗」という地名もある。犀乗沢上流の左岸で、源流付近となる飯田山の沢向いである。また「小入(おいら)」という地名と字名もある。「尾入」が転じたものか? 「こいら」とも呼ぶ。
地区内に集まった水の一つは土井尻から北の「奴沢」に流れる。もう一方は南の「西ん沢」に流れる。西ん沢は下田地区で犀乗沢に合流する。切り裂かれた岩は土井尻の沢で、龍の背に乗った場所は諏訪神社あたりで、尾があったのは平山の南裾の「おいら」、そしてその東上に住居があった「古宿」である。

2 デイラボッチの足跡

地区の北、田沢山の一本松の手前に大きな窪地があった。周りを樹木に覆われた窪地は湿地で、昼間でも薄暗い印象であった。窪地は東西に細長い楕円形で、東西30m、南北20m位の大きさで、ちょうど右足が西を向いている形状となっていた。ずっと稲が作られてきたが、昭和40年代後半になると、コメの生産調整以降荒廃してしまう。後、子どもたちの遊び場となり、冬は格好のスケート場だった。
この窪地は「デーラボッチャ」と呼ばれていた。各地にある巨人伝説の一つである。安曇野を一跨ぎして、三郷の室山方面に渡ったと伝えられているが、市不燃物処理場拡張に伴い買収され、現在は不燃ごみで埋め立てられ、逆に小高い山となってしまっている。
芥子坊主の北高台の「天池」と呼ばれる湿地と、旧青年の家西側斜面の山腹、市道脇展望台北50m付近から西に下る農道の突き当たり付近「白鳥」地籍の湿地もデーラボッチャと伝わる。

◆ 史跡

1 一本松窯

山田炎の会が穴窯2基を築造した平成12年(2000)に、古代の「布目瓦」が出土した。この軒平瓦の文様は、明科廃寺跡出土の軒平瓦と同じ文様であり、この窯で焼かれた瓦が明科廃寺の修復用の瓦として使われた。



2 山の神 (山田道)

山奥に珍しい石の鳥居、脇に寛政10年(1800)に祀られた馬頭観音石仏が佇む。社の周りには数本のケヤキの古木が歴史を物語る。近くに近世の牛馬療治場跡がある。



4 馬頭観音



5 諏訪神社

弘治3年(1557)勧請創建された。450年の歴史を持つ本殿は、大正14年(1925)に、拝殿は令和4年(2022)5月にそれぞれ再建。



◆ 遺跡

1 一本松 (布目瓦出土)



2 稲千原 (尖頭器出土)

2万年程前の波田ローム層から黒曜石製の尖頭器が戦後発見された。

3 浦山 (河童型吊り土偶出土)

通称「シンベン」の畑から平成14年(2002)に縄文中後期の河童型吊り土偶が発見された。



4 泣き坂古墳群

下平瀬坂下の古墳。4基が現存する。篠ノ井線開通前は10基ほど所在した。第1号墳は形20m余、高さ5m余で土石混合円墳で完存する。未掘だが、6世紀所属と考えられている。

5 老根田古墳

老根田とは御稲田のこと。縄文中期から後期に亘る遺跡が所在する。山頂の南側肩部に径10m余の円墳が残る。周辺には同時代の遺跡として岡田塩倉の堀田峰、神沢、塩倉池、田溝、放光寺、峰の平等が挙げられる。

8 道祖神・御岳大権現・二十三夜塔・庚申塔



9 金刀比羅神社

江戸時代末に讃岐の象頭山の金刀比羅神を勧請した。平瀬山の頂に社は鎮座する。この地方には珍しい神社で、北アルプスを背景にしたパワースポットである。本殿は勧請当時のもので、拝殿は令和4年5月に再建。



14 御所山

陣畑は平瀬城攻撃の際陣を据えし処也とか、傍らの山を御所山という。(東筑摩郡・松本市・塩尻市誌)



15 陣畑

16 八滝神社 (石造群)

江戸末期から昭和戦前まで、八滝は御嶽信仰の霊場として隆盛を極めていた。朽ちた拝殿の奥に35体の童子像、尾滝沢の急斜面には30数体の神仏の石造群が林立する。



17 亀岩

明治初年(1868)の古地図に記されている奇岩。

◆ 天然記念樹

1 山桜 (江戸彼岸桜)

【直径99cm】

松本平には見られない天然江戸彼岸桜の巨木。樹齢150年。



2 唐松

【直径80cm】

天然唐松種子から育った見事な大きさ。樹齢150年。



3 諏訪神社御神木 (ハリキリ・樺・杉)

400年以上の歴史ある諏訪神社境内に、天然記念物級のハリキリの巨木、神社四方に樺の大木、南側に3本の杉の大木は荘厳。



4 樺

【直径112cm】

実生育ち、諏訪神社御柱の御神木以上の巨木。樹齢150年。



5 枝垂れ桜 (古木)

【直径81cm】

年代を重ねる姿、上部が枯れても咲かせる古木。根元に弘化4年(1847)の大きな馬頭観世音石造。樹齢180年。



6 戸隠3本桜

【直径129cm(3本立)】

根元で3本に分かれる。大正初期に戸隠から移植した。樹齢100年。



7 枝垂れ桜

【直径60cm・48cm】

北アルプスを背景に鮮やかな花を咲かせる。根元から2本に分かれる。



8 天然白樺樹林

白樺・リョウブの珍しい樹林。保護したい樹木。



◆ 生息する野鳥

アカゲラ オオルリ カケス カッコウ カワセミ キジ
キビタキ ツグミ ジョウビタキ トラツグミ フクロウ
メジロ モズ ヤマガラ ヒヨドリ アオゲラ



◆ 山野草

アズマイチゲ アマドコロ イカリソウ オミナエシ ホタルカズラ ウスバサイシン
カタクリ キキョウ シュンラン ラショウモンカズラ オオウバユリ エンレイソウ
ワレモコウ チゴユリ ナルコユリ サラシナショウマ ヒトリシズカ ホウチャクソウ

